

視察報告書

委員会名	総務文教常任委員会					
視察日時	平成28年10月27日(木) 15時00分 ~ 17時00分					
視察先	市町村名	高知県香美市	人口	27千人	面積	538km ²
視察項目	移住定住の取組みについて					
視察参加議員	笹栗純夫、堀田勉、谷口一成、小島忠義、三嶋栄幸、柳明夫、岡村一伸、高橋徹郎					
視察随行職員	岩田英昭					

視察概要

1. 総括

香美市は、平成18年に香美郡土佐山田町、香北町、物部村の合併により新設された市で、人口は2万7千人、面積は約537km²である。市の面積の87%が森林で、人口は国勢調査の数値では昭和40年の39,238人から毎年減少を続けている。

2. 移住・定住の取組み

香美市では、人口減少に歯止めをかけるために、市として移住定住推進に取り組んでいる。

①平成24年度より「空き家バンク」登録のため、非常勤職員1名をおいて空き家調査を実施。

市内全戸数10,400戸のうち空き家が約1,400戸で、空き家バンク登録数は約50戸。

②平成25年度より「NPO 法人いなかみ」に移住相談業務等の定住促進業務を委託。

移住体験ツアー、大阪や東京での移住相談会の実施

移住定住促進ホームページの運営

元県職員住宅を活用し整備したお試し移住体験住宅(1棟:5世帯)の運営

③平成27年度より「定住促進協議会」を発足。メンバーは市役所、商工会、観光協会、銀行、社協、JA、林業関係者、不動産業者、ハローワーク、NPOなど。

④平成27年度より定住推進課(7名)を設置し、地域づくり支援員(6名)やNPOと連携して移住定住推進に取り組んでいる。

⑤空き家バンクに登録した物件に入居すると、県外からの移住者には100万円、県内からの移住者には50万円を上限に、家のリフォーム補助金を支給。

条件は、5年以上定住すること、及び市内建設業者を使う事。⇒平成27年度実績:6件中2件が利用。



NPO法人に運営委託している移住応援サイト

移住体験ツアーパンフレット



お試し移住体験住宅（元県職員住宅）



NPO法人による移住定住相談の拠点となる移住定住交流センター（元保育園）

3. 取り組みの成果

①平成27年度

- ・移住相談目標100組以上 ⇒ 相談件数実績:154組
- ・移住者数目標20組以上 ⇒ 移住者数実績:23組38人(内:NPO経由:11組18名)
- ・空き家バンク登録目標10件以上 ⇒ 登録件数実績:12件

②NPO法人に委託したことにより、移住相談者のニーズに応じた柔軟な対応が可能となり、土日でもフレキシブルに動けるようになったとのこと。行政は公平性が特に求められるため、柔軟な対応が難しい。

なお、建物所有者の個人情報収集などについては市が担当している。

また、NPOでは移住後の相談にも応じている。

③定住促進協議会と連携し、移住ツアー「香美市の求人募集企業を訪問するツアー」や「農とナニカのはじめ方ツアー」を実施している。移住希望者の課題である「住む所、働く所」などニーズに応じて対応している。

4. 課題

- ①空き家はあるが、なかなか空き家バンクに登録してもらえない。
- ②市街化調整区域での店舗・商売が出来ない。

意見（本市にとって活用すべき事項・課題など）

- 1.人口減少が続く校区毎に目標設定（移住相談件数、移住者数、空き家バンク登録など）をすべきではないか。
- 2.空き家の賃貸・売買を促すために、地域を限定し（例：人口減少が続く校区）リフォーム補助金を設置すべきではないか。
- 3.定住促進協議会を設置するなど、もっと民間の活力を活用すべきでは。
- 4.NPOなどに定住促進業務を委託することも検討すべきではないか。